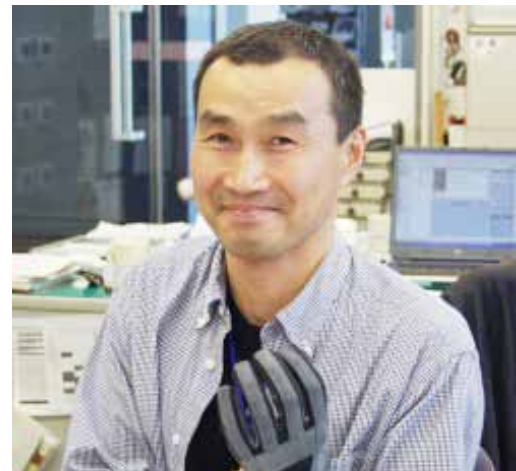


誇り高き舞台管理スタッフ、ここにあり!



みの~れ舞台技術マネージャー

阿部喜一 さん

「舞台技術に興味のある人、みの~れに来てください! 教えますよ!」

みの~れと共に生活するスタイル

Minole Life

のすすめ No.69

季節は桜色から若草色に変わり、若葉がぐんぐんと萌え出しました。チューリップや水仙の花が彩りを添えています。大空を元気に泳ぐこいのぼりが見られるようになり、カエルがゴトゴトと鳴きはじめました。今回は、みの~れという劇場では欠かせない、水戸市にお住まいの舞台技術管理マネージャーの阿部喜一さん取材します。

みの~れの舞台安全は私が守ります。

阿部さんはみの~れを設計する、準備段階の時代からここにきている。知り合いから文化センターの建設の話聞いて、ここに飛び込んできたそうです。

「私は舞台技術の営業にきました。その時、設計の段階から来て、専門的なことを色々教えてほしいと言われました。他の施設は完成してから来てくれればいいといった感じですがここは違いました。はじめから、自分の意見を取り入れて設計したので、舞台スタッフはとても使いやすいです。工事の人からは『阿部ホールになっちゃうよ』と言われましたが、出来上がって毎日いるのは、舞台管理をするスタッフですからね。家を建てる時と同じです。主婦が台所を使いやすいように設計するのと同じです。その時代はそういう工夫がされてる劇場は少なかったで

す」と阿部さんは話す。

「まず、みなさんは私が何をやっているのか解らない人が多いと思います。みなさんが見えないところで私は働いていますからね(笑)。一言でいうと私は、環境の設定をしています。劇団とか来た時にその技術の人がどう使ったらいいのか指示する仕事です。劇場はどこも違うのできちんと指示することで、安全管理につながっています」と説明してくれた。

中学生のとき放送部だった阿部さんは、深夜放送が大好きで、DJをやったりして仲間と楽しい時間を過ごしたそう。昔、水戸のイベントホールで働いていたときは、アマチュアバンドの間ではなかなかの有名人だったそう。

また、阿部さんの趣味はクロスカントリー。「でも、あまりやっている時間がないんです。あとはデイズニードに行くのが好きです。でも仕事モードになっちゃって、照明や音響の演出を見ちゃうんですよ。みの~れの舞

台技術ボランティアの皆さんと研修に行った時も音かどうとか説明しちやいました。休みの日はだいたいかみさんと買い物ですかね。あとは、家の用事で終わっちゃいますね」と阿部さん。

阿部さんにとってみの~れとは何か何と、

「みの~れって田舎にあるとは思えない劇場なんです。気楽に来れるんだけど、ちょっとおしゃれをしてくるような品格をもった劇場。十歳をむかえた今、より一層そういう風に思います。先人たちが築き上げたものを、継承していきたいと思えます。また、安全も確保していかなければならないです。大震災があったようにいつか最悪の場合も頭に入れておかなければならないですね。定年退職したら、ボランティアでみの~れに関わりたいですね。ボランティアで関わって・・・言いたいことを言ってみたいですね!」と阿部さんの笑顔が印象的だった。

藤田佐知子